

ゴールデンウィーク期間の県内観光地等の入込客数について

今年のゴールデンウィーク期間（4/29～5/6）における県内観光地及び観光施設等の入込客数（調査地点 81 箇所）のデータがまとまりましたのでお知らせいたします。期間中の1日平均がコロナ禍以降最高となる 246,609 人（対 2025：+33,072 人（115.5%））となりました。

1 ゴールデンウィーク期間の入込客数

表 1 県全体の入込客数

（単位：人）

	2026 (8日間) 4/29～5/6	2025 (11日間) 4/26～5/6	対2025増減 (対2025比)	2024 (10日間) 4/27～5/6	対2024増減 (対2024比)
入込客数	1,972,870	2,348,909	▲376,039 (84.0%)	2,437,331	▲464,461 (80.9%)
1日平均	246,609	213,537	+33,072 (115.5%)	243,733	+2,876 (101.2%)
調査地点	81地点	79地点	/	75地点	/
平日	2日	4日		3日	
休日	6日	7日		7日	
雨天	2日	3日		1日	

〔1日平均の入込客数の主な増加要因〕

- ・物価高や中東情勢の影響などにより東京圏から近い本県が選ばれたと想定されること
- ・7年に1度の「かみねじんじゃたいさいれい神峰神社大祭礼」の開催や、新スポットの「ザ ボタニカル リゾートTHE BOTANICAL RESORT 林音（リンネ）」の開業により入込客数が増えたこと

〔主な観光地等の状況〕

- ・「国営ひたち海浜公園」は1日平均約2万2千人で、前年の3万6千人から約4割減（公式発表は県調査期間とは異なり、12日間で約2万4千人）
- ・「いばらきフラワーパーク」は1日平均約2,300人で、前年と比べて約6割増
- ・「道の駅常総」は1日平均約1万6千人で、前年より約1千人の増
- （その他）
- ・「神峰神社大祭礼（7年に1度開催）」は1日平均で約5万3千人
- ・新スポットである「THE BOTANICAL RESORT 林音（リンネ）」は1日平均で約2,300人
- ・「つくば牡丹園」は1日平均約1,600人で、前年と比べ約6割増

表 2

入込客数上位観光地・観光施設等（下段は1日平均）

（単位：人）

	観光地・観光施設名	2026 (8日間)	2025 (11日間)	対2025増減 (対2025比)
1	国営ひたち海浜公園	179,127 (22,391)	397,393 (36,127)	▲218,266 (▲54.9%)
2	神峰神社大祭礼	160,000 (53,333)	-	-
3	道の駅常総	127,775 (15,972)	163,472 (14,861)	▲35,697 (▲21.8%)
4	笠間陶炎祭	82,951 (11,850)	84,249 (12,036)	▲1,298 (▲1.5%)
5	水戸まちなか フェスティバル	80,000 (80,000)	81,000 (81,000)	▲1,000 (▲1.2%)

※入込客数を公表している観光地・観光施設等の順位（2026年）

※神峰神社大祭礼は3日間開催

※笠間陶炎祭は各年とも7日間開催

※水戸まちなかフェスティバルは各年とも1日開催

表 3

ゴールデンウィーク期間の地域別入込客数（1日平均）

（単位：人）

	県北臨海	県北山間	県央	鹿行	県南	県西
2026（1日平均）	31,680	20,821	96,664	7,396	48,884	41,164
2025（1日平均）	8,473	15,940	101,568	5,638	46,239	35,678
2024（1日平均）	39,348	18,998	100,756	4,913	43,156	36,563
1日平均の比(2026/2025)	373.9%	130.6%	95.2%	131.2%	105.7%	115.4%
1日平均の比(2026/2024)	80.5%	109.6%	95.9%	150.5%	113.3%	112.6%

※「国営ひたち海浜公園」は県央地域に含む

※2026年の県北臨海地域は周期開催イベントあり（「神峰神社大祭礼（日立市）」：16万人、7年に1度）

※2024年の県北臨海地域は周期開催イベントあり（「常陸大津の御船祭り（北茨城市）」：30万人、5年に1度）

○ 本件に関するお問い合わせ、取材等のお申し込みは、下記までお願いいたします。
茨城県営業戦略部観光戦略課 観光戦略G 担当：内田、坂本
TEL:029-301-3617 FAX:029-301-3629